

佐古地区 地震・津波避難支援マップ①

平成29年10月

佐古地区で発生する地震・津波災害とその対応

津波避難ビル等の名称と収容人数はマップ②、③『津波避難ビル等の詳細』を参照して下さい

佐古地区の地震・津波災害(想定)と対応方法

南海トラフ巨大地震が発生すると、**建物等の損傷、倒壊、落下**のほか、地盤沈下や液状化による**道路破損**の可能性があります。また**眉山周辺ではがけ崩れや土石流**の恐れもあり、雨が降るとその危険性は高まります。

津波は地震発生から41分後に東沖洲マリンピア東端に到達し、53分後には最大高さ約5mになると想定されています。新町川、田宮川、佐古川沿いに遡ってくる**津波の氾濫による地区内の浸水深は1～3m**と想定されています。

揺れがおさまった後で**避難に使える時間は約30分**と考えられます。また、高齢者や幼児、けが人の介助や大勢の避難者が道路に集中することにより、**歩行速度は通常の半分(35m/分)程度**になると予想されます。最寄りの津波避難ビル等(マップ②、③に詳細)に**迅速に避難**しましょう。

河川を遡る津波の特徴

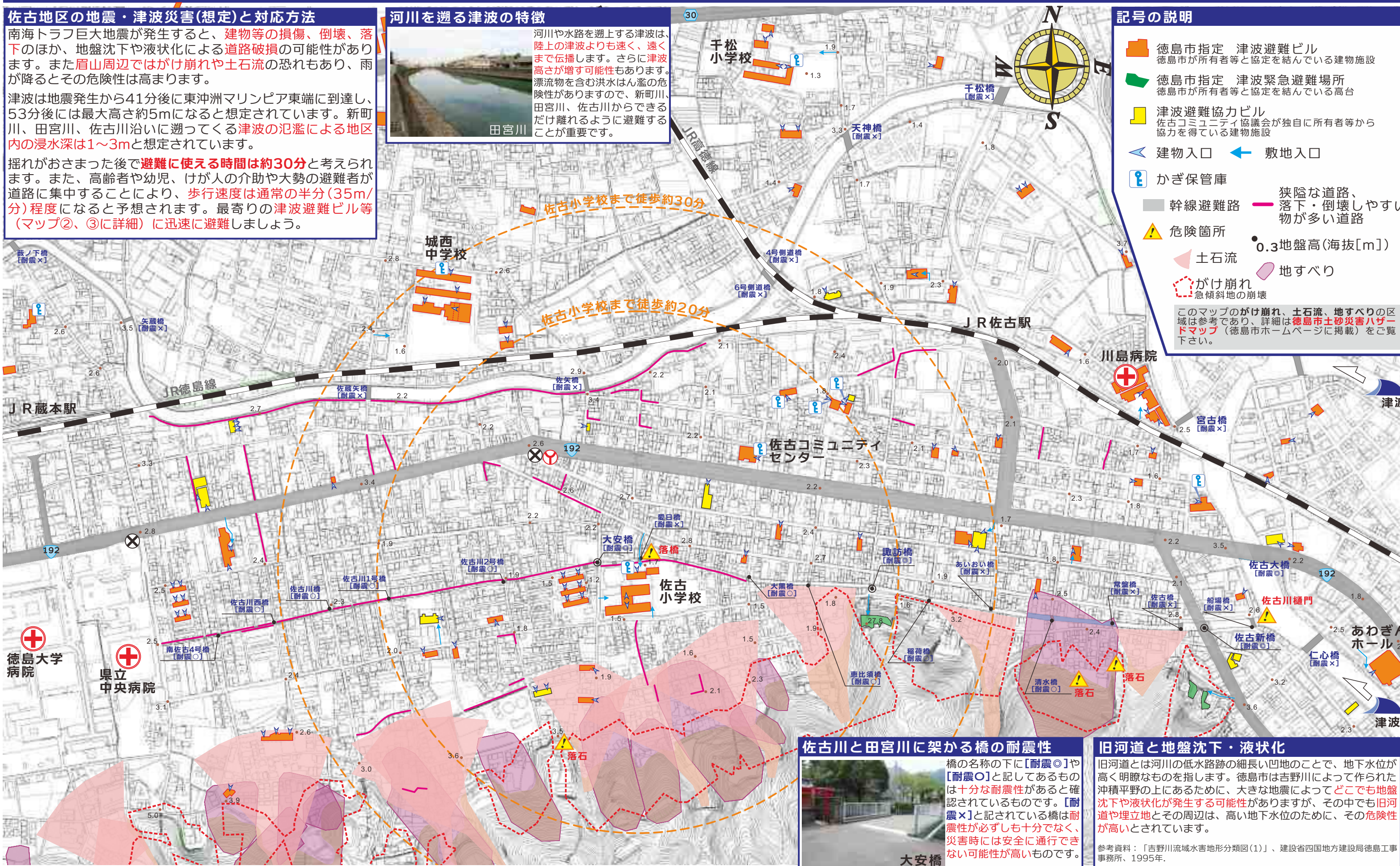
河川や水路を遡る津波は、**陸上の津波よりも速く、遠くまで伝播します**。さらに**津波高さが増す可能性**もあります。漂流物を含む洪水はん濫の危険性がありますので、新町川、田宮川、佐古川からできるだけ離れるように避難することが重要です。

田宮川

記号の説明

- 徳島市指定 津波避難ビル
徳島市が所有者等と協定を結んでいる建物施設
- 徳島市指定 津波緊急避難場所
徳島市が所有者等と協定を結んでいる高台
- 津波避難協力ビル
佐古コミュニティ協議会が独自に所有者等から協力を得ている建物施設
- 建物入口 敷地入口
- かぎ保管庫
- 幹線避難路 狭い道路、落下・倒壊しやすい物が多い道路
- 危険箇所
- 土石流
- 0.3地盤高(海拔[m])
- 地すべり
- がけ崩れ
急傾斜地の崩壊

このマップのがけ崩れ、土石流、地すべりの区域は参考であり、詳細は**徳島市土砂災害ハザードマップ**(徳島市ホームページに掲載)をご覧ください。



佐古川と田宮川に架かる橋の耐震性

橋の名称の下に【耐震○】や【耐震×】と記してあるものは**十分な耐震性**があると確認されているものです。【耐震×】と記されている橋は**耐震性が必ずしも十分でなく、災害時には安全に通行できない可能性が高い**ものです。

大安橋

旧河道と地盤沈下・液状化

旧河道とは河川の低水路跡の細長い凹地のことで、地下水位が高く明瞭なものを指します。徳島市は吉野川によって作られた沖積平野の上にあるために、大きな地震によって**どこでも地盤沈下や液状化が発生する可能性があります**が、その中でも**旧河道や埋立地とその周辺は、高い地下水位のために、その危険性が高いとされています**。

参考資料:「吉野川流域水害地形分類図(1)」、建設省四国地方建設局徳島工事事務所、1995年。

佐古地区 地震・津波避難支援マップ②

津波避難ビル等の詳細（佐古小学校以東）

マップ③「津波避難ビル等の詳細（佐古小学校以西）」とあわせてご覧ください。



徳島市 地震・津波 防災マップ



津波の想定浸水域・浸水深、家庭での防災対策、災害情報の入手先、避難時の持ち出し品等は、平成26年3月発行の『徳島市地震・津波防災マップ』に詳しく掲載されています。この冊子は徳島市役所危機管理課（庁舎7階）もしくは徳島市ホームページで入手できます。

佐古地区 地震・津波避難支援マップ③

津波避難ビル等の詳細（佐古小学校以西）

マップ②「津波避難ビル等の詳細（佐古小学校以东）」とあわせてご覧ください。

津波避難ビル等の情報の読み方

施設敷地への進入路

施設建物の入口



反射ステッカーが貼られています。鍵はかぎ保管庫に収められています。

佐古小学校
(2757)
☎622-7878

かぎ保管庫

ハンドル



かぎ保管庫が震度5強以上の揺れを感じると、扉が解錠されます。その後ハンドルを回すと扉が開いて、施設入口の鍵を取り出すことができます。なお、弱い地震では扉は解錠されません。

津波避難ビル等の情報

施設の名前

佐古小学校
(2757)

☎622-7878

1人当たり1平方メートルとして計算した避難スペースの収容可能人数

電話番号記載の施設は「避難所」を兼ねており、災害収束後には避難者情報や救援物資等が集まります



佐古地区 地震・津波避難支援マップ④

かぎ保管庫のある津波避難ビル、入口が分かりにくい津波避難ビル

最寄りの津波避難ビルの入口等を確認しておきましょう

